

きのと小だより

燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、
大事に大事に育てましょう。 平成27年6月15日 5号

体験を通して育つ

校長 金子 智

運動会で除草したグラウンドが早、クローバーに覆われました。柔らかな葉からは想像できないほど、がっしりとした根が幾重にも張り巡らされているからです。生命力の強さに驚かされます。

○ 3分間視写に取り組んでいる子どもがいます。

たくさんの文字を書けるようにするのが目的ではありません。自分のありったけの力を出して、マス目一杯に丁寧に丁寧に書くことが目的です。そして、集中力を高めることもねらいです。

大きなマス目のノートに3Bの鉛筆で書いています。「たくさんの字を書くのが大事なのではないよ。これ以上丁寧に書くことはできないという字を書くことが大事なんだよ。」と繰り返し説いて聞かせて、納得させて取り組ませています。

そうするとしっかりした文字になってきます。子どもも「ほら、いい字でしょう。」と満足そうに見せにきます。よい字が書けた快さ、集中して取り組んだ充実感を味わっています。こうして集中力を高めています。

字の全体に目をやると文字の形の美しさが評価の内容になります。しかし文字の部分、「あ」の曲線の美しさだとか、「大」のはらいの自然さだとかに目をやると、褒めやすくなります。子どもが自分の持てる力を出し尽くして書いた文字はいわば自分の分身です。それを褒められるのは自分自身を褒められるのと同じです。

集中力は意志の強さに姿を変えます。意志の強さは、がんばる力を高めます。集中力はできることを増やす大本の力です。

○ 6月5日、乙少年自然の家まで 学年を縦割りにした「仲良し班遠足」を行いました。大勢のボランティアの皆様が子どもたちの安全を守ってくださいました。心から感謝申し上げます。

仲良し班でまとまって、伸び伸びと遊ぶ子どもたちでした。「鬼ごっこ」だったり、「だるまさんが転んだ」だったり、遊びは班によって違っていますが、子どもたち全体がひとつにまとまっているように感じられました。ボランティアの方は、「みんながまとまって、年齢に関係なく楽しんでいました。とっても嬉しい姿でした。」

「ルールを守って、みんな礼儀正しいですね。」
「男の子もダンスを楽しんでいました。楽しそうに、はねたり、飛んだりしていました。見ているわたしもなんだか楽しくなってきました。」
と感想を述べておられました。

「今日は仲よくなるための遠足なんだ。よ～し、みんなと仲よく楽しむぞ」。子どもたちはそう自覚して遊びに参加しているように見えました。だから全体がひとつにまとまっているように感じられたのだと思います。

物事に集中して取り組む体験が集中力を高めま
す。みんなと仲よく行動する事によって交わりが
深められます。

このように体験を通して子どもたちは力をつけていくのですね。

ゆっくり雲が流れ 心落ち着く季節です。